第54号　（昭和32年 6月 1日 第三種郵便物認可）　広報おおず　昭和35年9月1日（一）

広報を
みんなが読んで
よい暮し

発行所　愛媛県大洲市役所
代表者　発行編集　沼田恒夫
総務課　岡谷武
（月1回1日発行）

広報おおず

◆この広報紙は市内各戸配付です◆

市の人口動態　7月末日調

総人口	45.733人		本籍人口	56.105人
内 男	22.248人	内 男		27.601人
内 女	23.485人	内 女		28.504人
世帯数	9.792世帯	本籍数		17.143戸籍

出生	死亡	婚姻	離婚	死産
45	21	20件	2件	14件

大洲市民の健康白書

昭和三十四年度
病類別罹病統計完成
――病気をしないように――

保険衛生課では全課員を動員して、昭和三十四年度の大洲市民（病類別統計作成していたが、このほど完成した。それによると一日に一四〇人の市民が病気になつており、一日に一八万六千円の医療費が払われている。そして、それは病気になるまい運動がいかに大切なかを物語つている。以下その実際を詳報する。

いつまでも元気で人生を幸福におくるためには、家族のものもみんなが病気にならないことが一番大切です。それも病気をなおすとか病気の原因を防ぐとかいつたことだけでなく、もつと積極的に健康を増進し、寿命を延長するといつたところに努力しなければなりません。

しかも最近の医学の発達はこの健康の増進と寿命の延長とに向つて新しい架橋をつくつてくれるようになりました。これを建設医学といわれておりますが、これまでの病気をなほすという治療医学や、原因を防ぐという予防医学に代つて、健康増進を科学的にとりあげることができるようになりました。

それと共に皆さんの健康増進についての関心は非常に高まつてまいりましたしこの一番大事な生命を守る運動が今、日本中のすべての処で、日一日と盛んになつてきています。

大洲市においても病気をしない運動を活潑におこして、皆さんが病気にかからないよう、子供が元気で成長するよう、皆さんが元気で長生きするよう、皆さんと共に手をとりあつて努力してゆきたいと念願しております。

そこで、まづ市民の皆さんがこの一年間どんな病気にかかつたか、医療費がどのくらいいつたかを各地区毎に調査統計いたしました。

（国保分のみ）

◉どうしてこんな病気にかかつたかをよく考えてみよう。

①一番多いのは歯の疾患ですがこれは歯みがきを励行しないことや早期に手当治療しないことも大きな原因ですが、根本的には毎日の食事の中にカルシウム分とビタミン（ACD）の不足によるものであつて栄養調査からみても現在の約二倍量とらなければなりません

カルシウムは大人一日一瓦姙婦一、四瓦以上はどうしても手軽く摂取されなければなりません。

（いりこや小魚類から）

そうして子供八人産んでもまた、六十才になつても歯がしつかりしているようにしたいものです。

②次には感冒や気管支炎が非常に多く風邪は万病のもとと云われる程ですが、これは日常の食物のうちに脂ぼうとビタミンの不足することや過労によるものであり、特に脂ぼう分は大人一日三十瓦～五十瓦（実際は約二十瓦以下）はとりたいしビタミンC不足は気管支炎の主因とまでいわれますのでミカン柿など果菜から十分とらなければなりません。ミカン島の中島町あたりでは、「ミカンが色づけばお医者が青くなる」といわれるのは、このようなところを端的に表現したものでしょう。

③第三には胃腸病がまた特に多いわけですが、これは農村人特有の大食に主因するものであつて〝大分喰つてだいぶ仂け〟という観念や三度食の内容、および量についてぜひ改善しなければなりません。また歯を丈夫にし、よく噛んでたべることや規則正しい生活をする、くよ〳〵しないことなども注意すべきことです。

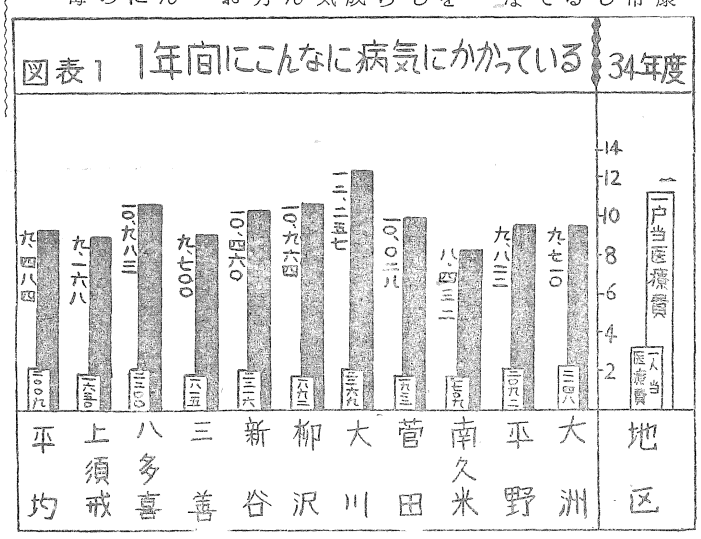
④第四には皮膚の疾患が案外多いことです。これは体内に硫黄分の不足やビタミンA、B6などが欠けているからであり、たん白質一日七〇瓦以上食物の中からとらなければなりません。（大豆、豆腐、牛乳、チーズ、魚肉等）

その他いろいろの疾患について発生の原因を考えてみますと、何れも健康を守る注意事項を実行していないことであり、また保健衛生に関する知識や関心に乏しいことであり、更に日常の食生活において病気をしないための食物というとり方に気をつけていないためであると共に、一方生活に追われて過労の重なることによるものであります。

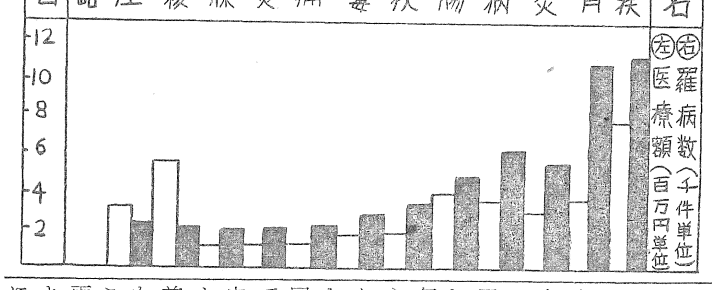
また、伝染病の集団発生を多くみておりますのは、どうしても環境衛生、公衆衛生に充分努力していないためであり、部落組織を通じ、手をとりあつて気をつけて頂きたいものです。特に環境衛生費がなくなつて無償の薬剤をお分けすることができませんが、皆さん方の自主的な活動によつて従来以上にカをいれて下さるようお願いいたします。

伝染病発生件数は大洲八四、平野一四、南久米〇、菅田五、大川一九、柳沢〇、新谷八、三善一、八多喜六五、上須戒〇、計一九六件となつております。

図表1　1年間にこんなに病気にかかっている　34年度



図表2　どんな病気に多くかかっているか



大洲音頭で町へくりだす

大洲を紹介するために募集された大洲音頭の発表会は川まつりの八月三日午後四時より大洲公会堂で行われ、入選作者土居建蔵氏ほか十名の表彰が行われ市長の挨拶歌、踊りの発表が華やかに行なわれた。発表後、市三役各課長をはじめ、市体育協会舞踊部、町内会、市役所職員有志など千名にのぼる多数が市役所前より常磐町を通つて駅前へと踊りの行進をつづけ市民より万雷の拍手をあびた。

第二日目は大洲えとこ節の発表会が行なわれた後中町、三の丸、本町、柚木へと踊りをくりだし唄と踊りの紹介で観光客を喜ばせた。

大洲音頭、大洲えとこ節の双方とも唄が大変的で親しみやすく、大洲情緒を豊かにとり入れたものとして市内外で好評を博しているが、踊りもまた優雅であり大洲の新名物としてその名声を天下にはせるのも思われる。

写真は川まつり当日、くりだした踊りの一隊

ご協力下さい
十月一日に國勢調査

國勢調査は五年ごとに行われる国の基本的な統計調査で、全国の人口の状況をしらべ、政治や行政のための基礎資料となる統計をつくるために行われるものです。

とくに今回の昭和三十五年国勢調査は十年ごとに行われる大規模調査で、大正九年に行われた第一回調査から数えて第九回の調査になります。

また、国際連合では各国の国勢調査の結果が互に比較できるように調査の基準を定め、なるべくその基準によつて、本年を中心とした前後の年に各国が国勢調査を行うよう勧告しており、これを世界人口センサス計画と呼んでいます。以上のように世界においても日本においても重要な調査でありますので、市民の皆様の絶対のご協力をお願いいたします。調査の概要を述べますと、

調査は十月一日現在国内に住んでいる人の全部を調査します。調査事項を列記すると、

1、氏名
2、世帯主との続き柄
3、男女の別
4、出生年月日
5、国籍
6、一年前の常住地
7、教育
8、配偶の関係
9、結婚年数
10、出生児数
11、就業状態
12、就業時間
13、所属の事業所の名称
14、所属の事業所の事業の種類
15、仕事の種類
16、従業上の地位
17、従業地または通学地
18、世帯の種類
19、準世帯の種類
20、住居の種類
21、住居の所有の関係
22、居住室の畳数
23、家計の収入の種類

となつており、世帯ごとに別々に調査票を用いて行います。この調査票を大洲二一九の調査区に分割したそれぞれの調査員が各世帯に配り、それに世帯員が該当事項を記入し、更に調査員が集めて廻るとき質問して調査することになつています。

以上概要を申述べましたが調査員さんが参られましたときは早急に調査事項を記入しておき、質問に快く回答していただくようお願いいたします。

陸空第三次自衛官募集

防衛庁では次のとおり自衛官の募集をしておりますから多数応募して下さい。

一、募集種別
二等陸、海、空士
二、応募資格
満十八才より二十五才未満の男子
三、学歴
新制中学校卒業以上の学力を有する者
四、願書受付期間
九月一日より十月十日まで
五、その他
詳細については、市役所総務課、各連絡所または自衛隊愛媛地方連絡部へお尋ね下さい。

災害は前例を破つてやつてくる

チリ地しんによる津波の被害、伊勢湾台風による被害にしても、その被害はかつて前例にない大きな被害であつたことは周知のとおりです。

「災害は忘れた頃にやつて来る」と云われたが、今日は気象観測技術の進歩によつて、台風の発生からその規模、速度、雨量、上陸地点、被害の予報まで次々と報道され、前述の名言は通用しなくなつたにもかゝわらず、気象災害は年々多くの尊い人命を失うほか、多額に上る損害をこうむつております。

伊勢湾台風の罹災者は皆が口を揃えて「台風が上陸することはわかつていたが、まさかこんな被害になるとは思わなかつた」と云つており、以前はこの程度ですんだから、まあいいだろうまさかこれは壊れないだろうと軽く考えていたところに損害を大きくしたのだと思われます。

本市は県指定の水防管理団体であり、水防対策を年々関係団体と協議し、防災計画の万全を期しておりますが、気象災害を人為的に左右することは不可能であり被害を出来るかぎり少なくするためには、市民の皆さんが警報に従い、最善の処置を講じ損害を最少限度に防止するようご協力を切におねがい申し上げます。

信号方法

区分＼方法	警鐘信号	サイレン信号
第一信号	○休止○休止○	約五秒 約十五秒休止 約五秒 約十五秒休止
第二信号	○一○一○ ○一○一○ ○一○一○	約五秒 約六秒休止 約五秒 (以上反覆)
第三信号	○一○一○一○ ○一○一○一○ ○一○一○一○	約十約 約五秒休止 約十秒 (以上反覆)
第四信号	乱打	約一分 約五秒休止 約一分 約五秒休止

ダム放流信号

一、サイレン　約一分　休止　約一分　休止　約一分

二、警鐘　○約十秒休止○約十秒休止○

水防信号は次のとおりです。

第一信号　警戒水位に達した時を知らせるもの（大洲で十五尺）

第二信号　水防団員および消防機関に属する者の全員が出動を知らすもの。

第三信号　管内に居住する者が出動することを知らすもの。

第四信号　必要と認める区域内の居住者に避難のため立退くべきを知らすもの。

米の全量予約についてお願い

今年も非常な好天気に恵まれ、六年つづきの作柄のよさが期待されています。この向きなれば昨年以上の収穫が予想できるでしょう。

さて、皆さんもご存じのように今年の米価決定にあたり、米価審議会では米の統制撤廃が生産者以外の代表者から強く叫ばれました。

その中でとくに衆としても考えてみなければならないことは、次の三の指摘事項であります。

①、五年つづき作柄のよさは、もはや今では一応安定した平年作見るべきであり、農家の手米は次第に増加して、国数千県においては、すでに配給価格より、ヤミ米安いという事実を生じてること。

②、台風等全国的な大凶作に遭遇しない限食年活の改善と相まつて、米の完全需給が可能になたこと。

③、東南アジア域の安い米（タイ米石四、八七〇円　安南米石四、一八〇円、朝鮮米石六、三〇〇円）がダブついて来たこと。

このように国内的にも国際的にもこゝ数年のうちに事情は大きく変つて参りました。

また過日、政府答申された農林漁業基本問題調査会等の意見具申中にも、予約制度が農家らの手で守られていないため、統制の実をあげていないことが強く論議せられたことであります。更に又、今後の農政の方向が麦中心の農業から、畜産、果樹に転換指向さるべきことをも強く述べられていたのでありますが、一方、貿易の自由化により農業への圧迫は、今後かなり早い速度で進んで参ると思われます。したがつて、それまでに農家は市や農協を中心として、計画的に一致結束して早く体質改善を図るとゝもに、米の全量予約集荷を確立して、一挙に統制撤廃による米価の下落と、外米輸入の防止に対する発言権を確立し、自らの経済を安定さすことが特に必要かと存じます。

以上のような観点から今年は皆さん方の積極的な協力をえて、予約制度の実を完全に果すため、大洲市では慎重な事態検討のもとに保有米を除く以外の全量予約運動を展開いたしました。幸い、各関係指導者ならびに生産者の方々の全面的な協力をえて、市管下各地域で部落座談会等が開催せられ、現在（十九日）県からの要請量に対し、八〇%に当る一七、〇〇〇俵の好成績で予約が進められています。

なお、今後も前記事情をご賢察のうえ、生産農家一人一人が全量予約と全量売渡の実をあげられますよう切にお願いいたします。

伝染病にかゝらないようまずカとハエを撲滅しよう

赤痢・疫痢

◉熱が出て下痢をしたら素人療法は危険です。

赤痢疫痢は赤痢菌で発病します。便に必ずしも赤痢菌が出ていなくとも高熱引きつけ等の症状がひどく死亡することが少くないと云われています。

赤痢は粘液便と血便があり下痢は一日十回～二十回になることがあり、こう云う時にクロマイとかサルファ剤でかたづけようとする人が多いと云われますが最近日本でどの薬も効かない赤痢が集団発生して死亡者が出て問題になつたこともあります。

発熱と下痢があつたら素人療法は禁物で医師にかゝり検便をしてもらい家族内の感染を防ぎましょう。

赤痢菌をばらまくものは便以外になくそれが食べ物や飲み水にくつゝいて体内に入り赤痢になるのですから予防法としては、

一、便所の管理を適切にして窓には金網、汲取口には完全な蓋をし便所の中にハエや虫の入らないようにする

二、食餌の前には必ず手を充分に洗うこと、

三、ハエ、あぶら虫、ねずみ駆除、

四、ごみ箱には完全な蓋をしてハエの出入を防ぐこと

五、水道のない家庭では井戸に汚水の入らぬよう注意し井戸端でのおしめ等の洗濯は絶対に行なわいこと、

六、暴飲暴食をつゝしむこと

公益質屋をご利用下さい

市営の喜多公益質屋では昭和三十一年四月に営業を開始して以来、本当に困る方々のために比較的簡単にそして迅速に、生活資金は一口、四千円、生業資金は一口、三千円の範囲内で、利息三分、流質期間四か月で融通しております。

日曜、祭日を除いて、毎日午前八時から午後八時まで営業しておりますから、せいぜい御利用下さい。

公益質屋は庶民の味方であり、本当に困る方々のために営業しています。

希望の灯　明るく　ともす　国民年金

届書の受付　十月一日開始

①加入せねばならない人
日本に住んでいる二十才から五十九才までの日本人しかし次の人は除かれます
イ、厚生年金恩給共済組合などの年金制度に入つている人。
ロ、その人の配偶者
ハ、学生
ニ、来年四月一日で五十才以上の人。

②、任意加入することができる人
イ、大学（高等学校も含む）の學生
ロ、年金制度に入つている人の配偶者
ハ、来年四月一日現在で五十才～五十五才までの人
ニ、遺族年金を受給している人

③、届出
加入せねばならない人は一人残らず届出ねばなりません。
本人またはその世帯の世帯主もできます。

④、届書の受付
十月一日から加入することができる人は来年の三月三十一日までに申出ないと、加入することができなくなります。

防災の日　九月一日

農業委員選挙

九月十五日にきまる

大洲市農業委員会の委員任期が満了するので、選挙管理委員会は去る八月二十三日委員会を開き、九月十五日を投票日と決定した。

この期日から逆算し、法定の選挙告示が九月五日になります。この選挙は、農業関係者だけの制限選挙であるだけに、農業に関係した人々に限られています。

何人選べばよいのか、それは、第一選挙区（大洲）で六人第二選挙区（平野、南久米）で四人、第三選挙区（菅田、大川）で五人、第四選挙区（柳沢、新谷）で五人、第五選挙区（三善、粟津、上須戒）で四人計二十四人となつております。

立候補しようとする方は、九月五日から九月十日までにもよりの連絡所、または市役所総務課にお尋ね下されば、届出書の用紙をお渡しし、記入方法を詳しく説明することになつております。

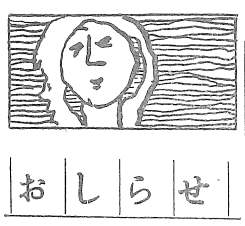
職員研修会開く

今回の一般研修は、八月三十日から九月九日までの間に六日間、昨年の参加者を除く中級職員五十名が対象で、市の行財政、事務改善のはなし、公務員のあり方など十数課目について、愛媛県自治研修所の講師をはじめ、市課長らから講習を受けることになつている。その成果を期待したい。

農林道の補修整備について

市内各地区の農林道の多くが損傷甚だしく、中には車の交通不能、全く機能を停止している状態のものもあります。今後の新設改修に一考を要することにもなり影響いたしますので、速急に補修整備充分に利用されるよう各地元受益者にお願いいたします。

産業課



今回三善地区の宮本春吉氏が人権擁護委員となられました。

人権擁護委員は、国民の基本的人権が侵犯されることのないように監視し、もしこれが侵犯される場合にはその救済のためすみやかに適切な処置をとるとともに常に自由人権思想の普及高揚に努めるために全国の市町村の規模に応じて、法務大臣が委嘱するものであります。本市は今回委嘱された宮本春吉氏のほかに、大洲地区稲沢卯治郎氏、菅田地区吉田利喜衛氏がありま す。

皆さんのうちで人権を侵犯されるおそれがあつた、侵犯されたような場合は、もよりの人権擁護委員に相談し、適切な処置を講じていただくようねがいます。

市民サービスに連絡員巡回順序日程表

十月分

備考　巡回員は各連絡所への到着時刻の正確を期すこと

地区別		3 月	4 火	5 水	6 木	7 金	10 月	11 火	12 水	13 木	14 金	17 月	18 火	19 水	20 木	21 金	24 月	25 火	26 水	27 木	28 金	31 月
1	野米 南久	総務前後	社会後前	産業前後	保険後前	税務前後	市民後前	総務前後	社会後前	産業前後	保険後前	税務前後	市民後前	総務前後	社会後前	産業前後	保険後前	税務前後	市民後前	総務前後	社会後前	産業前後
2	田川 菅大	市民前後	総務後前	社会前後	産業後前	保険前後	税務後前	市民前後	総務後前	社会前後	産業後前	保険前後	税務後前	市民前後	総務後前	社会前後	産業後前	保険前後	税務後前	市民前後	総務後前	社会前後
3	沢谷 柳新	税務前後	市民後前	総務前後	社会後前	産業前後	保険後前	税務前後	市民後前	総務前後	社會後前	産業前後	保険後前	税務前後	市民後前	総務前後	社会後前	産業前後	保険後前	税務前後	市民後前	総務前後
4	善喜 三多 八	保険前後	税務後前	市民前後	総務後前	社会前後	産業後前	保険前後	税務後前	市民前後	総務後前	社会前後	産業後前	保険前後	税務後前	市民前後	総務後前	社会前後	保険後前	産業後前	税務後前	市民前後
5	戒須 上	産業前後	保険後前	税務前後	市民後前	総務前後	社会後前	産業前後	保険後前	税務前後	市民後前	総務前後	社会後前	産業前後	保険後前	税務前後	市民後前	総務前後	社会後前	保険後前	産業後前	税務前後